

**【事業名】 ソーシャルディスタンスを公園で学ぼう**

NPO 法人 Lotus	まちづくり整備課
<b>(1)協働の相手方と信頼、尊重し合う関係を意識しながら企画事業を行うことができましたか。</b>	
<p>現状や事実、立場を意識理解し合うことで、地域課題解決の為に本事業があるという事業価値を捉え2年目の企画を模索することも出来たのではないかと思います。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症により、企画事業の実施について悩んだこともあったが、協働事業者との密な連携を行うことにより、内容は限定的ではあったものの、信頼関係を構築しながら事業を無事終了することができた。</p>
<b>(2)事業の課題認識と目的を協働の相手方と共有することができましたか。</b>	
<p>今年度は、コロナ禍によって大いに左右されたが、逆に世界規模の共通課題があったことで、共通認識が高まった。</p>	<p>公園での新型コロナウイルス感染症対策については、互いに手探りで対応であったが、保育園を運営する協働事業者の専門的知見や、公園管理者としての意見等を共有しながら、事業運営を行うことができた。</p>
<b>(3)自らは、当初想定した役割を果たすことができましたか。</b>	
<p>行政だけでは届けにくい地域の声を反映する機会創出は民間だからこそ貢献できたと思います。</p>	<p>概ね役割を果たせたと思っているが、今回のテーマである「「ソーシャルディスタンス」を公園で学ぼう！」について、専門的分野での対応も多く、役割分担の比重が協働事業者側になってしまったと思っている。</p>
<b>(4)事業の進捗状況や情報を協働の相手方と共有することはできましたか。</b>	
<p>行政との協働だったからこそ、共有し易かった。この地域課題解決に向けた本事業は、市として良い事業だと改めて感じました。地域の民間がもっと地域課題解決に寄与したいと捉える人が増えて欲しい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症により、集まったの進捗状況や情報の共有はほとんどできなかったが、アプリを利用することにより、共有することはできた。</p>
<b>(5)協働の相手方と互いの特性を活かすことができましたか。</b>	
<p>やはり、一見異業種とも思える特性は活かしやすい事業の機会だと思います。お互いに新たな課題を発見し視野が広がることで、もっと地域は良くなると確信しました。</p>	<p>昨年に引き続き、行政側としての役割（地元への周知方法や施設管理のノウハウ、木の伐採等）と、保育園などを運営する民間事業者としての役割（衛生管理やイベントの企画立案等）を活かして、事業を行うことができた。</p>

**(6)この事業を協働により実施することで効果は上がりましたか。**

我々だけではなし得ることが出来ないことも、この事業を通して広く地域住民が知る機会と自ら地域貢献出来るという社会的役割に気付ける。

新型コロナウイルス感染症対策の内容であったが、誰もが自由に利用できる公園という場所で実施することにより、多くの方々にこの事業の主旨を広めることができ、また、専門的知見を持つ民間事業者との協働による事業実施により、行政だけでは気づけない課題のあぶりだしや新たな魅力の創出などを図ることができた。

**(7)その他、この事業を通じて感じたことや、相手方への要望、制度の改善策等について**

強く感じたのは、本事業において、どれだけの行政の方が「知っているのか」「どういう課題認識」をしているのかという疑問はありました。全く別な課の方は「知らない」は何故なのか。地域の公園を良くしようと思えば、協働する課の職員の方だけではなく、こどもに関する手続きをしている課の職員が、妊娠や出産とどう結びつけて考えられるか、高齢者、障がいをもった地域の方に、いかにこの事業によってそれぞれの課題解決に使えるか伝えていけるかなど、数ある課の職員の皆様に、興味と関心、共通課題認識をもっていたら、この実施事業を活かして欲しいと感じます。

よって、制度の改善策としては、次年度こういう事業があるので、各課で活かせること、その課で抱える地域課題なども共有しあえれば、もっと良い事業に発展すると考えます。

まちづくり整備課との協働事業は、未来の会津像を描き合える、地域住民にとっても会津を訪れる人々にとっても、間違いなく改善されていく、共に成し合える協働先でした。

2年間において、素晴らしい機会を与えていただき感謝申し上げます。

事業完了後も、地域課題解決のためには、引き続きこれまで以上の意識を高め、新たに寄与する機会を頂きたいと考えています。

都市公園や緑地については、町内会・周辺住民の方々のご協力、市の委託業者によって維持管理している現状がある。しかしながら、高齢化や地域コミュニティの希薄化などにより、地域の公園・緑地を管理する活動を休止する団体が出ている状況もある。

高度経済成長期に整備された公園については、施設の老朽化が顕著に表れており、遊具の更新は公園施設長寿命化計画に基づき行っているものの、今後更に更新が必要となる施設は増えていくものと思われる。

今回の協働事業を通して、民間団体の活力による新たな魅力づくりや専門的な知見による展開など、行政だけでは気づくことのなかった様々なことを知ることができ、有意義であったと思う。この民間団体による活力は、注目されているPPP/PFI事業への架け橋になるのではないかとと思われる。

協働事業者であるNPO法人Lotus様には、コロナ禍であり、かつ、公園という公共施設での事業であったため、非常に苦勞されたと思うが、最後までやりきっていただいたことに感謝するとともに、今後の公園の新たな「側面」のブラッシュアップ等のため、継続して情報交換等を実施していきたいと思う。